

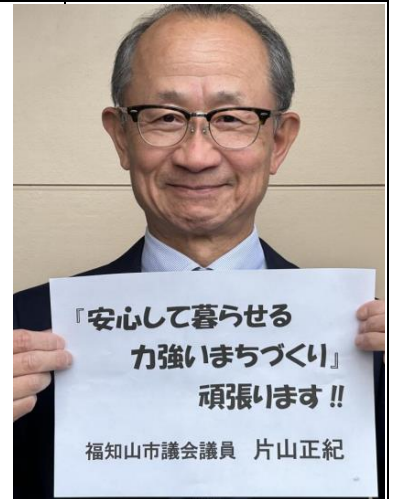
安心して暮らせる力強いまちづくり

福知山市議会議員

片山まさき

議会報告 No.3号

(令和6年1月1日 発行)



明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を健やかに迎え、心よりお喜び申し上げます。

昨年4月に執行されました福知山市議会議員選挙におきまして、皆様方のひとかたならぬお力添えのもと、当選させていただき、これもひとえに皆様方のご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

議員就任後の私の活動に際しまして、変わらぬご理解、ご協力を賜り、重ね重ね御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3年余りにわたり感染拡大を繰り返し人々の日常生活や経済にまでも影響を及ぼしてまいりました新型コロナウイルス感染症については、昨年5月に感染症法上の5類に移行された結果、行動制限も緩和され、賑わいを取り戻し始めたところであります。

私が生活しております上六人部・中六人部の両地域におきましても、それぞれ飲食を伴う3年ぶりの秋まつりや文化祭が開催され、地域の皆様の元気な顔を拝見することができ、嬉しく感じたところであります。

去る12月1日に開会されました市議会12月定例会におきましては、昨年8月に襲来した台風7号により被災した道路・河川、農地・農業用施設等の復旧に係る経費や、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に伴う住民税非課税世帯等への給付に係る経費の補正予算等が上程され、慎重審議の結果可決されました。

また、本定例会では5項目について一般質問をおこない、理事者側に答弁を求めながら議論を深めてまいりましたので、それぞれの概要についてご報告させていただきます。

令和5年第5回(12月)定例会補正予算

【一般会計補正予算】

No.	事業名	補正額(千円)	備考
1	住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業	669,470	
2	災害復旧事業(道路・河川、農地・農業用施設ほか)	1,168,075	
3	民間保育所施設整備事業	18,019	
4	社会保障・税番号制度実施に係る整備等事業	10,361	
5	その他一般事業(地方債繰上償還金含む)	860,298	
6	国民健康保険事業特別会計ほか4会計繰出金	15,826	
	合計	2,742,049	

【一般質問】

1. 新たな運行事業者による園福線の運行に向けて

片山バス路線の撤退表明をおこなった西日本 JRバス園福線が、来年4月から新たな事業者により運行開始されるにあたり、9月22日から10月3日にかけて、住民説明会が開催されたところであるが、住民の皆さんからどのような意見や要望が述べられ、そうした意見をどのように反映するのか。

答弁住民説明会での意見等を受け「福知山市民病院や福知山高校三和分校へのアクセス改善のための路線延伸」や「運行時刻の変更」をおこなったが、上六人部区間における「旧国道である市

道への経路変更」や「フリー乗降制度の導入」については、「道路幅員や安全対策上の課題」があることから実施できなかったところである。

片山園福線が廃線の危機を免れることは喜ばしいことであるが、多くの住民の皆さんの意見が反映できていないのは非常に残念である。三和地域を運行する市バスを六人部地域の旧国道である市道を経由し、福知山市民病院まで延伸するとか、新たなデマンド交通を導入するとか思い切った施策導入ができないのか。

答弁住民の皆さんのご意見を受け、今後はバス交通だけでなく、それを補完するような乗り合いタクシーやデマンド交通といった様々な移動手段の導入を検討していく。

2. 福知山市公共施設マネジメントの取組状況と今後の方針について

片山 公共施設マネジメント計画は、必要な公共施設を適正に維持管理するとともに市政全般にわたる施策展開上、どうしても必要となる公共施設に投資する財源を確保するためにも、非常に重要な取り組みであるが、旧小学校単位に設置されている農村研修集会施設については、今後の維持管理経費の負担の問題や、所有権移転登記に伴い必要となる認可地縁団体の設立等の課題が大きな壁となっている。

公共施設マネジメント後期実施計画の期限となる令和6年度末までに、地域の合意形成や認可地縁団体の設立等ができなかった場合は、こうした農村研修集会施設は直ちに民間事業者への譲渡や用途廃止のうえ解体除却となるのか。

答弁 お尋ねの集会施設については、認可地縁団体の設立など地域の実情にも配慮する必要があるが、一定の合意まで至った施設等については、直ちに民間事業者への譲渡や用途廃止のうえ解体除却とはせず、後期実施計画終了後も引き続き地域へ丁寧な説明を実施し、集会施設の地域への譲渡を進めていく考えである。

3. 土砂災害特別警戒区域の指定に伴う安全対策について

片山 上六人部地区計画の策定にあたり、計画区域内の市道「三俣上安場線」の法面に土砂災害特別警戒区域が指定されているため、法面に隣接する個人所有地が計画区域から除外されることとなる。土砂災害特別警戒区域を解除し、個人所有地を地区計画区域に編入するため、市道「三俣上安場線」の道路法面にコンクリート擁壁工事を施工されたい。

答弁 土砂災害特別警戒区域を地区計画の中を含め、一緒になってまちづくりをしないとこの地域のまちづくりが描けないというような事情があるのであれば、民地に係る一定の地元負担を伴うこともあるが、適切な工事を施し土砂災害特別警戒区域を外して、この地区計画に組み入れるということも、協議の余地があるのではないかと考える。

片山 まちづくりの観点からこの地区計画が必要なら、そのまちづくりのために土砂災害特別警戒区域の指定を外すための必要な工事も条件を整えて施工するという理解で良いか。

答弁 まちづくりの観点からの議論であれば協議に応じる用意はある。

4. 福知山市新文化ホール整備事業の今後の方向性について

片山 新文化ホールは、現在の厚生会館敷地を建設予定地としているが、隣接する民間事業者の用地取得に関わる協議は進んでいるか。

答弁 厚生会館に隣接する民間事業者所有地の取得や借用などについて、現在ご協力いただけないか関係者と協議を行っているところであり、一定の整理ができた段階で議会に報告をさせていただく。

片山 50億円の総事業費に対して、10億円の国庫補助金しか充当されない計画と聞いたが、例えば新文化ホールに防災機能があるなら防災安全交付金を充当するとか、創造活動機能や交流機能があるなら、社会資本整備総合交付金の高次都市施設に係る補助金を充当するとか、まだまだ充当できる財源はいくらでもあると考える。しっかりと研究し、知恵を絞りながらこうした有効な補助財源の確保に努める考えはないか。

答弁 今後、基本設計を進めるなかで、可能な限り有利な財源確保に努め、実質的な市の負担額を縮減させたいと考えている。

片山 財源不足分を補填するため総事業費の7割に近い33億円もの起債を充当するようであるが、本市の中期財政見通しの今後の展望から考えて、単年度投資経費に影響するのではないか。

答弁 現時点で概算建設工事費50億円に対する起債については、起債充当率や交付税参入率の低いメニューも想定して見込んでいるが、今後、他の補助金や有利な地方債の活用を図っていくこととしている。

5. 福知山市スポーツ推進計画に掲げる目標に向けた取り組みについて

片山 平成31年3月に策定された福知山市スポーツ推進計画に基づき、テニスコート、温水プール等の施設整備が図られたところであるが、なかなか施設整備に向けた動きが見えないのが野球場と弓道場である。それぞれの施設整備に向けた検討状況についてお聞かせ願いたい。

答弁 平成31年3月に策定された福知山市スポーツ推進計画においては、野球場については将来的には移転などの検討が必要としていたが、現在、大型バスも駐車できるようになり駐車可能台数も増加したことから、まずは現施設を数多くの大会等で利用いただけるよう維持保全を行っているところである。

また、弓道場については老朽化も進んでいることから、今年度に施設改修の設計業務を発注し弓道協会のご意見もお聞きしながら市民運動場内での移転改修に向けて準備を進めているところである。

発行元: 片山まさき事務所

620-0831 福知山市字岩崎 159 番地の 3

TEL/FAX 0773-27-1265

E-mail markikun.k@gmail.com